

北海道大学総合博物館

「海の学び石狩湾トランクキット」開発と啓発事業の推進

実施期間：2019年10月16日（水）～2020年4月30日（木）



北海道大学総合博物館でのワークショップ



既存の生き物キットを用いての試験的運用



札幌駅前通地下歩行空間における
ワークショップ展開



イオンスーパー石狩緑苑店（商業施設）に
おけるワークショップ展開

【事業の内容・目的】

- 石狩湾地域に特化した全く新しいアウトリーチ教材（石狩湾海の学びトランクキット）を4セット製作した。このキットには、実物標本やぬいぐるみなどが収納されたおり、子どもから大人までの幅広い年齢層の一般の地域住民に、海洋環境を守り継承する大切への、興味関心を高めることにつながる。また、このキットを紹介したパンフレットと活用時に用いるワークシートを作成した。
- このキットを用いたワークショップを公共施設やショッピングセンター等での実施し、日常環境問題への関心が高くない地域住民や観光客に、様々な疑似体験を子どもから大人までの幅広い年齢層に、石狩湾の海洋環境とヒトと海のつながりについての理解を促進することができた。
- 本事業で開発したキットは、地域に特化したものであるから、地域住民が身近な海洋環境や海と関係した河川への自然環境保全や人々とのつながりを実感できる地域密着型のアウトリーチ教材開発のモデルとなる。

活動の様子

1. 「海の学び石狩湾トランクキット」の新規開発

【開催日時】2019年10月16日（水）～2020年4月30日（木）

【開催場所】北海道大学総合博物館、石狩浜海浜植物保護センター、
いしかり砂丘の風資料館、こどもみらい館あいぽーと、

【参加者数】3,151人

【活動内容・目的】

- 石狩湾という地域に特化したトランクキットを作製し、石狩湾の自然の魅力を伝えるとともに、海洋環境の保全の大切を地域住民や伝える場を提供する。
- 「こども未来館あいぽーと」と「ウィングベイ小樽」で既存の生き物トランクキットの試験運用を行い、新規開発する地域特化型トランクキットへの改良点などの問題把握を行った。



石狩湾の樹脂封入標本



石狩湾生き物マグネット



サケのぬいぐるみ
(内蔵樹脂封入)

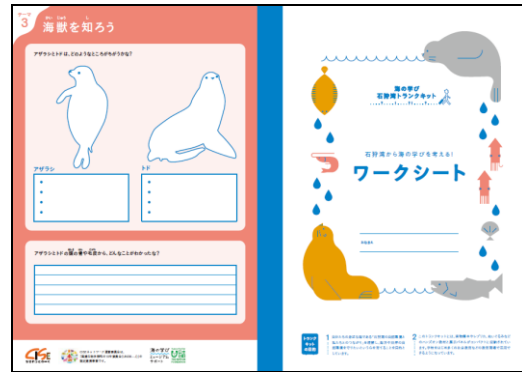


トドの毛皮

「海の学び石狩湾トランクキット」には、頭骨や毛皮、樹脂封入標本、解説パネル、ぬいぐるみなどの石狩湾に特化した標本資料が4つのトランクに収納した。開発したキットは、学校教育や社会教育の現場で、子どもから大人までの幅広い年齢層の方に「石狩湾の海の学び」についての学習に活用できる地域密着型教材となっている。



総合PRパンフレット



ワークシート

「海の学び石狩湾トランクキット」の概要と使用例を紹介した総合PRテキスト（A4 12ページ）を500部作成した。また、このキットを使ったワークショップ実施時に使用するワークシート（A4 4ページ）を1000部作成した。今後、石狩市、小樽市、札幌市等の学校教育施設や社会教育施設に配布する予定である。



11月24日「こども未来あいぽーと」
試行ワークショップ



11月30日「ウィングベイ小樽」
試行ワークショップ

今まで開発した生き物トランクキットを用いて、ハンズオン展示とワークショップの試行を実施した。その結果、ハンズオン教材は、ぬいぐるみは、小さな子どもが興味関心を持つなど、大人から子どもまでの幅広い年齢層に活用できる。

石狩市では小学校でサケについての学習が実施されており、地域に特化したキット開発を行うことは、学校現場での活用が期待でき地域特化型のトランクキット開発の必要性を実感できた。

ウィングベイ小樽（商業施設）での開催は、博物館や環境問題への関心の高くない地域住民への海の学びの普及啓発につながる実感があった。さらに、ニシン漁や北前船などを加えることで、小樽市の地域特性が必要であると実感した。

【参加者の声】

- 海の生き物は体の特長を使ってうまく生活していると学びました。
- もっと海について知りたい。
- 海をきれいに保ち、動物に長生きしてもらいたい
- 今度、海に行った時、サケのことを思い出してサケを見ようと思います。
- 昔から人々は海の生き物たちと関わってきたのだなと思いました。
- 自然の大切さや、それを使って人間が生きていたことが学べた。

● 2. CISE サイエンスフェスティバル in チカホ
「石狩湾から海の学びを考える！」コーナーの設置

【開催日時】 2020年1月9日（木）12時～18時

1月10日（金）10時～15時

【開催場所】 札幌駅前通地下歩行空間（チカホ） 北3条交差点広場

【参加者数】 1,692名

【活動内容・目的】

- 札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）という一般の通行人が気軽に立ち寄る場所で、「海の学び石狩湾トランクキット」の試行版を活用したハンズオン展示会とワークショップを実施した。
- 開発中の石狩湾という地域に特化したトランクキットが、札幌市の不特定多数の参加者にどのような効果があるかを検証した。



広報チラシ（表）



広報チラシ（裏）



石狩湾から海の学びを考える！
コーナー会場風景



ハンズオン教材 海獣の毛皮

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



ワークショップ 石狩浜を知ろう！



ワークショップ 石狩浜を知ろう！



ワークショップ 海獣の知ろう



ワークショップ 海と川のサケ

CISE サイエンスフェスティバルには、平日の開催にもかかわらず約1,700名の参加者があった。また、各ブースでの体験や実施者とのコミュニケーションが充実しており、参加者と実施者ともに満足してもらえるものになった。

また、「海の学び石狩湾トランクキット」の、頭骨や毛皮、樹脂封入標本、ぬいぐるみなどの石狩湾に特化した標本資料は、札幌市の子どもから大人までの幅広い年齢層の方に評判が良く、札幌市での海の学びを進めることに活用できる内容であることがわかった。

また、本事業の展示イベントやワークショップを北海道大学や地域博物館等の研究者による指導の元に、北海道大学や東海大学の学生をはじめ地域NPOスタッフが主体となり実施した。また「石狩湾の海の学び」の地域リーダーとなる人材を養成する機会となった。

【参加者の声】

- 海の生き物にはその生き方にあう体のかたちをしているんだと思い、心に残りました。
- うみにいって砂はまの生物を見てみたいと感じた。
- 自然をまもることが未来につながると思いました。
- アザラシやトドは、絶めつきぐしゅだからプラスチックやゴミをすてたりしてはいけないなと思いました。
- 海は厳しいけど、そこに適応して生きている生き物がいることを知って、すごいと思いました。
- 海は、大切だし、海のひみつをたくさんしれた。トドとあざらしの事をもっと知りたいと思った。

3. 「海の学びトランクキット」を活用した ハンズオン展示とワークショップの実施

トランクキットを用いた商業施設での展示ブース

【開催日時】 2020年1月25日（土）・26日（日）10時～15時

【開催場所】 イオンスーパーセンター石狩緑苑台

【参加者数】 453名

【活動内容・目的】

●新規に開発した「海の学びトランクキット」の収納物を活用したワークショップを大規模商業施設であるイオンスーパーセンター石狩緑苑店にて実施した。

●石狩市役所と石狩緑苑店舗の御協力の元、専門店街と通路という多くの方が利用する「石狩湾から海の学びを考える！」コーナーを設置できたおかげもあり、ワークショップにはたくさんの参加者があり賑わった。



会場の様子



ワークショップ 石狩浜を知ろう！



ハンズオン教材 サケのぬいぐるみ



ワークショップ 石狩浜を知ろう！

地域住民にとって馴染みのある石狩浜の自然ボードと海・川ボード、親子で一緒に生き物マグネットなどを貼り楽しんでもらえるとともに、ぬいぐるみや毛皮などのハンズオン教材に興味関心を持ってもらえることができた。

本事業をショッピングモールで実施した結果、今まで博物館活動や海洋環境問題について関心があまりなかった地域住民の参加が多数あり、地元であるが今まで知らなかった石狩湾

【参加者の声】

- ニュースを見るたび、海の汚染が気になります。
- 色々な生き物が海にいることを感じた。
- 海と山の生きものの違い（毛の生え方）を知って海の生物のとくちょうがわかった。
- 北海道の海の豊かさについて学びました。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はできません。

【事業全体のまとめ】

「海の学び石狩湾トランクキット」という地域に特化した全く新しいアウトリーチ教材を4セット製作した。このキットには、実物標本やぬいぐるみ等などが収納されたおり、自分たちに住んでいる地域の海洋環境への学校教育の現場はもちろん、実物標本などの多彩なハンズオン資料を、ワークショップなどで活用することで子どもから大人までの幅広い年齢層の一般の地域住民に、海洋環境を守り継承する大切への、興味関心を高める。

ワークショップを公共施設やショッピングセンター等での実施し、日常環境問題への関心が高くない地域住民や観光客に、様々な疑似体験を子どもから大人までの幅広い年齢層に、石狩湾の海洋環境とヒトと海のつながりについての理解が促進する。

また、この「海の学び石狩湾トランクキット」の総合PRテキストを500部印刷し、今後石狩市、小樽市、札幌市の学校教育や社会教育現場に配布する。さらに、ワークシートを1000部印刷して、学校教育や社会教育現場で、このキットを活用したワークショップを開催する。

この事業は、地域に特化したものであることから、地域住民が身近な海洋環境や海と関係した河川への自然環境保全や人々とのつながりを実感できる地域密着型のアウトリーチ教材開発のモデルとなる。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. いしかり砂丘の風資料館	テーマ1 石狩湾の自然環境 サブテーマ1 石狩浜を知ろう！のハンズオン教材特に海や川ボードの作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
2. 石狩浜海浜植物保護センター	テーマ1 石狩湾の自然環境 サブテーマ1 石狩浜を知ろう！のハンズオン教材特に海や川ボードの作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
3. NPO 法人いしかり海辺ファンクラブ	テーマ1 石狩湾の自然環境 サブテーマ1 石狩浜を知ろう！のハンズオン教材特に海や川ボードの作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
4. 小樽市総合博物館	テーマ1 石狩湾の自然環境 サブテーマ2 ニシン・蜆気楼を知ろう！のハンズオン教材の資料の提供および助言などを担った。
5. 札幌市豊平川さけ科学館	テーマ2 海と川のつながりのハンズオン教材の作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
6. サケのふるさと千歳水族館	テーマ2 海と川のつながりのハンズオン教材の作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
7. おたる水族館	テーマ3 海獣を知ろうのハンズオン教材の作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
8. プロジェクトとっかり	テーマ3 海獣を知ろうのハンズオン教材の作製や資料の提供やワークショップを協働実施した。
9. 海と日本 PROJECT in 北海道実行委員会事務局 (北海道放送株式会社)	「第8回 CISE サイエンスフェスティバル」取材し「サンデーDoki っと！」の番組内で放送。札幌駅前通地下歩行空間「北3条広場」大型スクリーンにて、イベント実施時に「海と日本 PROJECT in ガッチャンコ北海道」で今まで収録した「海の学び」を放映。
10. 株式会社 アドバコム	環境教育情報紙 エコチルに、「第8回 CISE サイエンスフェスティバル」の広報と実施内容の紹介と報告を行ってもらった。

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. エコチル	北海道版 12 月号に CISE (チセ) サイエンスフェスティバル in チカホの広報が掲載された。
2. 北海道放送株式会社	「CISE (チセ) サイエンスフェスティバル in チカホ」の様子を 2020 年 1 月 26 日 (日) HBC テレビ「サンデー Doki っと」で放送。
3. エコチル	北海道版 2 月号に CISE (チセ) サイエンスフェスティバル in チカホの開催報告が掲載された。

以上